

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年9月26日

| | | | | | |
|--------------------|---|------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|
| ①学校名: | 多摩大学 大学院 | ②所在地: | 東京都多摩市聖ヶ丘4-4-1 | | |
| ③課程名: | 経営情報学研究科 経営情報学専攻 修士課程 MBAコース | ④正規課程/履修証明プログラム: | 正規課程 | ⑤開設年月日: | 1993/3/19 |
| ⑥責任者: | 研究科長 徳岡晃一郎 | ⑦定員: | 経営情報学研究科 55名 | ⑧期間: | 2年間 |
| ⑨申請する課程の目的・概要: | 多摩大学大学院は、産業社会の課題解決の最先端で活躍する高度経営人材の育成を目指すMBAコースとして、課題解決の実践的ツールを学ぶ「実践知考具」のカリキュラム群と、最先端のビジネスシーンでのイノベーション事例を学ぶ「最新ビジネス実践知」のカリキュラム群および時代を見抜く目を養う「教養基盤」のカリキュラム群とで、カリキュラムを編成し、立体的な学びを目指します。 | | | | |
| ⑩4テーマへの該当の有無 | 非正規労働者のキャリアアップ 中小企業活性化 | ⑪履修資格: | 民間企業・官公庁等に在職し、入学時現在3年以上の実務経験を有している職業人を優先し、下記のいずれかに該当する者。 (1)大学を卒業した者。または、本大学院において大学を卒業したと同等以上の学力があると認められた者。(2)学校教育法(昭和22年法律第26条)第68条の2第3項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。(3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者。(4)文部科学大臣の指定した者。(5)外国人留学生においては、日本語能力試験2級以上を取得している者。 | | |
| ⑫対象とする職業の種類: | 会社経営者、公務員、会社員 等 | | | | |
| ⑬身に付けることのできる能力: | (身に付けられる知識、技術、技能) イノベーターシップ、実践知、教養基盤 | | (得られる能力) 問題解決力(実践知力)、本質思考力、事業構想力、イノベーション構想力 | | |
| ⑭教育課程: | ヒューマンリソース概論<科目>や知識創造経営のプリンシパル<科目>やスーパージェネラリスト<科目>等でイノベーターシップに関する知識を学び、ビジネス実践知探究<科目>で企業と連携した授業を展開し、またフィールドスタディ<科目>では実地調査に基づく授業を実施している。インサイトコミュニケーション<科目>や問題解決学<科目>では、図解コミュニケーション等により問題解決力、本質思考力が身に付く。ビジネスの最前線で活躍する教授陣から少人数で濃密なコミュニケーションを伴う授業を実施することで、イノベーターシップを修得させる。 | | | | |
| ⑮修了要件(修了授業時数等): | 1. 2年以上在学 2. 合計30単位以上修得 3. 「修士論文」または「特定課題研究論文」の審査および最終試験に合格 | | | | |
| ⑯修了時に付与される学位・資格等: | 修士(経営情報学) | | | | |
| ⑰総授業時数: | 185単位 | ⑱要件該当授業時数: | 133単位 | 該当要件 企業等 双方 実務家 実地 | ⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 78% |
| ⑳成績評価の方法: | 出席状況、聴講姿勢、レポート、発表等を総合的に評価し判断する。 また、修士論文・特定課題研究論文の最終試験を以って卒業判定を行う。 | | | | |
| ㉑自己点検・評価の方法: | 学校教育法第109条第1項に定める自己点検評価を実施。 全学統一の点検項目を各分科会で策定し、自己点検評価委員会のもとヒアリングを受ける。 報告書はHPにて公開されている。 | | | | |
| ㉒修了者の状況に係る効果検証の方法: | 修了生に対し修了時アンケートを実施し、本学に対する満足度や改善点を検証し、大学院運営に反映させる。 また、修了後の進路について調査し、目指す就職先またはキャリアアップが出来ているかを検証し、データベース化している。 | | | | |
| ㉓企業等の意見を取り入れる仕組み: | (教育課程の編成) 連携企業のアナリティクス部門とデジタルマーケティング部門とのコース長(教務分科会長)との定例意見交換(年2回)で教育課程の編成に企業の意見を取り入れている。また、連携企業により組織する意見交換会議において、企業経営における最新情報を共有することにより教育課程の編成に企業の意見を取り入れている。 (自己点検・評価) 連携企業のアナリティクス部門とデジタルマーケティング部門とのコース長(教務分科会長)との定例意見交換(年2回)で、本学院が作成する自己点検案に対する評価を行い、プロジェクト分科会、教務分科会はその報告を受け企業の意見を反映させる。また、連携企業により組織する意見交換会議において、本学院が作成する自己点検案に対する評価を行い、プロジェクト分科会、教務分科会はその報告を受け企業の意見を反映させる。 | | | | |
| ㉔社会人が受講しやすい工夫: | 土日祝日の開講、平日夜間の開講 | | | | |
| ㉕ホームページ: | (URL) http://tgs.tama.ac.jp/ | | | | |

| | | | |
|---------|---|-------|--------------|
| 事務担当者名: | 福井 佑典 | 所属部署: | 多摩大学 大学院 事務課 |
| 連絡先: | (電話番号)03-5769-4170 (E-mail) tgs@tama.ac.jp | | |

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。